

令和6年度湘南大庭地区郷土づくり推進会議
〈全体会議（第19回定例会）議事録〉

日 時：2025年（令和7年）1月7日（火）19：00～20：35

場 所：湘南大庭市民センター 2階 第1談話室

出席：13名（うちZoomによる出席1名）、湘南大庭地域活性化協議会委員2名

欠席：0名

（協力員）0名

（事務局）湘南大庭市民センター 大塚センター長、入澤主幹、杉浦

1 情報提供

（1）湘南大庭地域活性化協議会の委員による活動概要の説明

湘南大庭地域活性化協議会から、委員2名の方に参加いただき、活動概要を説明。

湘南大庭地域の未来を考えるための羅針盤として、湘南ライフタウン活性化指針を作成。

同指針は、地域住民の意見を盛り込み作成したもの。

概要版には、基本理念やめざすべき将来像を簡潔に示している。

3月で同協議会は役目を終えるが、その後は目指す方向が同じ郷土づくり推進会議に引き継ぎ、活動を継続してほしい。

子どもからお年寄りまで地域の声を集めた同指針を活用し、今後のまちづくりに生かしてほしい。

同指針は1月25日に完成予定。

その後、改めて同協議会の方から、説明していただく機会を設けたい。

2 協議事項

（1）第7期湘南大庭地区郷土づくり推進会議公募委員追加募集の選考について

〈資料1〉

資料1にもとづき、郷土づくり推進会議公募委員追加募集の選考について、説明。

同協議会との統合、及び学生委員の交代等に伴う委員追加に伴う選考。

別紙2では、同会議運営要領の第5条で委員の任期を2年間としている。

別紙3では、任期を第7期終了時までの1年間、応募締切の期日を2月14日として、同会議公募委員追加募集及び選考要領を定める。

別紙4の応募用紙を同協議会委員等に配付し、同会議委員の追加募集を行う。議長から「応募の動機」と「地域活動や市民活動の主な経験、その他自己PR」は、書く内容が重なるため一緒にしてほしいという意見があったが、今回は追加募集であり、7期の募集と同じ形式にしたいため、8期に改めて検討する。

資料1の内容で、公募委員追加募集及び選考要領、応募用紙を選考委員会の

委員向け資料を送付する。

(2) 2025会議のあり方について〈資料2〉

参加者全員が意見を話し切る会議を目指す。

意見をすべて伝え切るために、A4サイズ1枚の用紙に簡潔に記載する。

話のタイトルを最初に記し、次にどのような行動を起こしたいのか、明確に記載する。その根拠となるデータや記事等がA4サイズ1枚に収まらないときは別途資料を作成するが、別途資料の説明は極力しない。

もっとも重要なことは、どのような行動を起こしたいか、箇条書きでまとめること。

「会議の目的」は、自らの意見を明確に表明しつつ、他の参加者の意見を如何に聞き出すかが重要で、自発的に情報やアイデアを出し合うことで、より良い結論を導き出すことができる。聞き上手になることが重要（口2、耳8）。

他の参加者には常に敬意を示し、その意見を傾聴したうえで、自らの意見を明確に伝えてほしい。

会議のあり方アンケートの表現添削を事務局に依頼しており、e-kana gawaでアンケートを実施の予定。

3 前回の確認

令和6年度第18回定例会議事録（案）〈資料3〉

4 各部会からの報告事項

(1) 大庭城跡部会から〈資料4〉

2月15日14時から、第2回大庭城跡シンポジウムを開催する予定。

講師の川地氏、大庭城跡友の会の山下氏、駒寄小学校長は登壇につき了承済み。

郷土歴史課は登壇の意思なし。

前回シンポジウムの参加者からの意見を紹介。

ワークショップから、現状と課題、課題への取り組みを紹介。

歴史的価値の高い城跡であるにもかかわらず認知度が低い。認知度を高めるためにも、シンポジウムの意義あり。

年表につき、1116年の大庭御厨の誕生から、1559年に鎌倉北条氏の領国下として大庭城の廃城までの知識が、大庭城跡を理解する上で必要。

1月15日14時から、シンポジウム開催に向けた事前打ち合わせを実施する予定。

シンポジウムを市の関連部局長に情報提供してほしい。→市民自治部長、生涯学習部長、教育部長及び都市整備部長にチラシを配付済（1月8日）。

(2) かるた部会から

12月19日かるた部会で44作品の選定を行った。

1月10日までに、印刷業者への引き渡しを確定させる予定。

氏名の公開非公開のチェックがない生徒につき、意思確認のため7校に対し、確認を行った。

その確認の中で、石川小学校の生徒が読んだ句の神社が、どこの神社を詠ったものなのか特定させることができた。

同一応募者からの2作品が選考されており、同一応募者からの複数作品の採用を認めるか、1月9日実施予定の部会で協議のうえ決定したい。

1月9日実施予定の部会の後半で印刷業者が同席の予定であり、そこで採用が確定している作品を印刷業者に引き渡し予定。→1月9日に実施した部会で、今後の段取りの調整と確認を行い、1月10日に作品を引き渡し済み。

今後、かるたの冊子と収納箱のデザインを部会で決定し、印刷業者に依頼する予定。

(3) セカンドライフ部会から〈資料5〉

1月18日、レザークラフト講座を開催予定であり、三角コインケースを制作する。

参加者は16名。

材料費約800円を参加者から集める予定。

当日、次の4点を参加者に持参いただく。

1. 目打ちまたは千枚通し
2. カッター
3. カッター台（B5～A4程度の大きさ）
4. 15cm～20cm程度のプラスチック定規

以前、実施した麻雀講座で参加費を集めたときに領収書を渡したが、参加費を集めるならば、領収書を渡した方がよい。当日、事務局で準備した領収書を参加費と引換に渡す。

(4) 子ども居場所づくり部会から

前回の定例会で挙げた竹とんぼ製作は日程的に難しく、取り止める。

昨年8月に実施を計画していた「川ガキになろう」のような川遊びを、今年5月か6月頃に実施したい。

1年を通して、公民館事業を含め、地域で実施しているイベント等の情報があれば提供してほしい。

5月か6月頃の川遊びに向け、連携できそうな地域のイベントがあれば、事前に把握しておきたい。特に昨年5月や6月に実施済みのイベント等の情報を提供してほしい。

公民館事業と連携可能ならば、郷土づくり推進会議も連携して、事業を行いたい。

(5) デジタル推進部会から〈資料6〉

1月18日10時から、藤沢市デジタル推進室の地域団体向けデジタル出張講座として、「Canvaによるチラシの作成講座」を実施予定。

電創が講師となり実施予定。

当日、参加者はパソコンを持参するように周知。

6団体宛に講座の情報提供を行ったが、現在のところ参加希望者なし。

(6) ゴルフ部会から

3月4日(火)、芙蓉カントリー倶楽部で実施予定。

チラシは作成、地域に配布済みであり、1月10日に地域回覧の予定。

1月20日から申込受付を開始。

5 その他

(1) まちかど健康相談

11月に2日間「まちかど健康相談」実施したが、委託料の予算残額の範囲内での事業実施について、藤沢市保健医療財団と協議した結果、健康測定を一部縮小した形で実施できることとなった。

同財団のスタッフの確保等を考慮し、日程の候補日が2月4日と3月11日。

地域回覧の準備等を考慮し、3月11日(火)を第一候補日とする。

委託料の見積額は104,500円であり、予算執行状況表に計上。

ライフピア1階特設会場の使用について、湘南ライフタウンショッピングセンターと未調整のため、石塚委員に同ショッピングセンターとの日程調整を依頼することになった。

石塚委員からの日程調整の連絡後、改めて会場使用を依頼する予定。

(2) 地区交流会での発表

中村委員が大庭城跡を中心に発表。

2月7日(金)10時から12時まで各団体10分間の発表を行う。

湘南大庭市民センター長と郷土づくり推進会議の委員2名が参加。

中村委員と小山委員が参加の予定。

資料のフォーマットは小山委員が作成。

(3) 駐車場の有料化

1月15日(水)から駐車場の有料化がスタート。

郷土づくり推進会議が主催の事業について、主催者側は2時間超でも無料になるが、参加者側は2時間まで無料。

また、精算したら10分以内に出庫しないと駐車料金が発生する。

精算方法は、車両ナンバー4桁を入力し決定後、事務局から交付された駐車サービス券をかざし、精算を行う。

以上

【次回定例会】令和7年1月21日(火)午後7時～

湘南大庭市民センター2階 第1談話室